社会福祉法人　八幡平市社会福祉協議会

ふれあいネットワークはちまんたい

福祉だより

2008.12月発行
No.11

善意の輪、呼びかけ

「赤い羽根募金にご協力を」と十月十二日から二十六日にわたり、それぞれの場所で街頭募金が行われました。

市内の西根一中、松尾中、西根中の三中学校の生徒さんの自主的な運動によるものです。

募金の会場は〝道の駅にしね〟など五カ所で、元気な呼びかけにたくさんの善意が寄せられました。

皆さんからご協力をいただき深く感謝申し上げます。

主な内容

2・3ページ…地区懇談会
4ページ…社会福祉大会 福祉まつり
5ページ…社会福祉協議会活動報告
6ページ…福祉団体活動紹介
7ページ…ポパイの家 シルバー人材センター
8ページ…お知らせ

○表紙写真　街頭募金の様子
（H20．10．12　道の駅にしね）

この広報は皆さまからの共同募金で発行しています。

しあわせの郷（さと）づくりをめざして

わたしたちは日ごろから「年をとったら大変だなっす」とか「一人暮らしになったら心配」とか、日々の生活に不安を持って暮しています。このような心配を皆さんと一緒に取り組むことによって明るい街づくりにつなげたいことから地区懇談会の様子をお知らせします。

心の支え合い、弾む会話で生きがいに

福祉の活動で地域の支えを

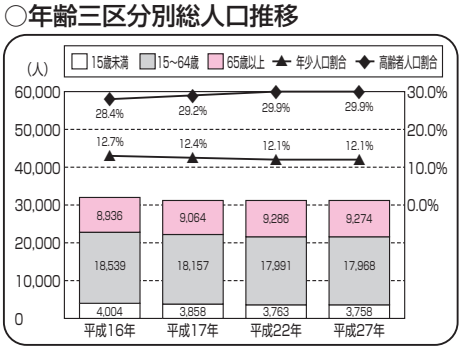
よく、福祉という言葉を耳にします。福祉って何を意味しているでしょうか。日本の人口も五人に一人は六十五歳以上の高齢者という時代になるそうです。確かに高齢化が進むと負担も多くなり、家庭や地域に不安が漂うとか不安をあおる材料ばかりになりがちです。

ですが、八幡平市は、今年三月に八幡平市地域福祉計画を作成しました。「だれもが住み慣れた地域で安心し、生きがいを持って生活していくために連携して地域福祉を進めることが必要」と述べています。内容については、ガイド版などで配布されました。そこで、社会福祉協議会も市の地域福祉計画に沿って、具体的にどのようにして皆さんと一緒に活動できるか、必要とする内容を計画として組み立てることにしました。予定しているものは「八幡平市地域福祉活動計画」です。計画づくりには、他の計画と同様に参画は皆さんが主役と言われます。計画の項目は、次回に紹介しますが、計画の必要性や地区懇談会の様子などからご意見、要望などを紹介します。

生まれる人少なく、減少へ

八幡平市の場合、人口の減少や年齢の割合が次のグラフでお分かりかと思います。高齢化の割合も近い年に現在の二九％から三〇％を控えておりますし、生まれる人より亡くなる方が増える状況にあります。

○年齢三区分別総人口推移



人口の減少化が地域に与える影響がどのようなものに反映されるか想像されるでしょう。昔から言われました「お互いさま」とか「あたり、ほとりの話」が薄らいできたことから「いつまでも住み慣れた地域で安心してくらしたい」という地域住民の願いがあります。

福祉活動計画 提案を参考に

社会福祉協議会では、今年度の主要な事業に位置付けて地域福祉活動計画を立てることにしています。昨年度から策定のために専門の委員会を設けて検討されてきました。

社会福祉協議会も三つの地区が一緒になって、住民福祉の向上のために地域の状況に応じて運動を繰り広げています。この運営にあたって地域によっては活動課題が提起され、解決のために計画的に取り組むことが必要です。これは望ましい姿を皆さんと話し合っていただき、活動の目標とするものです。

八月二十六日から九月十九日まで市内九ヶ所で開催しました地域福祉懇談会の様子は次のとおりです。懇談会の会場は安代地区は二カ所、松尾地区では三カ所、西根地区は四カ所で延べ二七〇人を超えて出席いただきました。いずれの会場も関心高く、熱心に話し合いされました。

分かりやすい計画書の要望も

活動芽生える 児童生徒の輪

最初に安代地区での話題を紹介します。「サロン活動で旅行したいのでマイクロバスを利用させてほしい」ですが、バス利用は、福祉活動の中で研修や活動の移動のために利用することの申し合わせになっています。福祉団体や協議会の事業の趣旨に沿った利用になりますのでご理解をいただきます。子どもたちの福祉活動に対するお褒めの言葉もありました。「でりばり講座でボランテイアの心が立派に育っている」の声です。障がいを持った方や高齢になって体が不自由になったことを想定して用具を身に付けて体験する講座です。地区の児童や生徒を対象にして福祉活動の育成のために学校と一体になった活動は、福祉心の醸成に役立っています。「地域を意識した活動でふるさとをつなぐ子を育てたい」の発言でした。

ほしいボランティア 参加者

次は松尾地区です。ボランテイア活動でスノーバスターズのメンバー高齢化の悩みがありました。活動に当たって次の世代を養成しないと要望に応えられないことの心配です。地域の状況から除雪の始末や時期の内容によって活動のために事前の準備が必要です。地域の条件に左右されますが、まさに皆さんの活動に関する合意形成が大事です。スタッフの確保についてそれぞれの集会や活動の様子を情報として発信するなど募集の機会をとらえたいものです。子どもに関する話題もありました。「子ども見守り隊を老人クラブだけでなく、自治会やPTAなど関係機関と協力しないと続かない」です。「老夫婦で暮らしているが、子どもたちは都会におり、地元の働く場所があったらふるさとに戻りたい。そうしたら安心して見守られるけれど・・」と老後の不安を述べていました。地域の活動連携にしても確認や安否情報をお互いのために共有する必要性があります。活動には、個人のプライバシーには配慮することは当然です。社会福祉協議会で発行するチラシや福祉だよりについて内容のPR不足や高齢者向きではなく、読みづらいと、厳しい指摘もありました。

お互いの情報 活動機能強く

次は西根地区の話題です。一人暮らしの方です。「まわりが見守ってくれるのでとてもありがたい」です。「近所にお店がなくて困っているので患者輸送バスで買い物できないか」など地域活動のネットワークの一端が述べられました。

運営体制の意見としては、「合併によって支所対応が手薄になって地域が大切にされていない」、「サービスが充実してこそ合併ではないか」と心配の声です。社会福祉協議会の運営も支所を設けながらの合併前の機能を損なわない体制です。決して完成したものではございません。皆さんの創意と熱意を目標として掲げ、実現に近付けていくための地域福祉活動計画を立てるものです。

地域のネットワークの必要性も強調

共助、協働で 地域づくりを

懇談会の様子は、紙面の都合により大まかな部分ですが皆さんの貴重なご意見につきましては計画書に載せます。ご了承願います。

計画書に定めようとする基本的な事項は、「しあわせに元気に暮らし」、「共に助け合い、協働で活動」を趣旨としています。年明けの三月までに策定を予定しております。

第3回 八幡平市社会福祉大会

『誰もがこの地域で安心して暮らすことのできるしあわせの郷づくり』の実現に向けて

期日　平成20年11月8日　　場所　八幡平市西根地区市民センター

今回の大会には、田村八幡平市長をはじめ、来賓、市内の福祉関係者約百八十人が出席して行われました。

式典の後には、八角病院名誉院長樋口紘先生から「その人だけの脳」と題して講演いただき、脳は老化しながらも使えば使うほど成長し、脳が元気であれば、人間は百二十歳まで生きられる話などを聞き、「ピカッ」と輝く体の仕組みを学びました。

大会の席上、表彰を受けた方々は次のとおりです。

受賞者のご芳名一覧（敬称略 順不同）

社会福祉事業功労者表彰

①社会福祉団体の役員

橋本　ヨシ（安代）

②社会福祉団体の職員

吉田とし子（西根）　高橋　正子（松尾）

北舘　知子（安代）　工藤みつ子（安代）

安保たえ子（安代）　北口美智子（安代）

八幡　柳子（安代）　佐藤　京子（安代）

ボランティア活動功労者表彰

澤　敏夫（西根）　村上　昭子（安代）

褒賞

武田登美子（西根）　工藤　京子（西根）

古川　孝（松尾）　西田　トシ（安代）

福祉健康標語最優秀賞

福祉の部　落安　陸（平笠小三年）

健康の部　新坂　駿平（寄木小五年）

社会福祉団体役員功労表彰を受ける橋本ヨシさん

樋口紘先生の講演

八幡平市福祉まつり

『広げよう、ふれあいの輪、笑顔あんしんの輪』をテーマに開催

期日　平成20年11月9日　　場所　八幡平市西根地区市民センター

市民の皆さんに、福祉を通じて交流してもらおうと、福祉まつりの催しです。

住民の出会いの場、ふれあいの場、語り合いの場をつくり、福祉団体等のさらなる普及に努め、福祉に対する理解と関心を持ってもらうことが目的です。

福祉健康標語展示、バザー、福祉団体コーナー、レクリエーション交流、演芸会、作品展示、日赤奉仕団コーナーなど、たくさんの内容で約三百人の参加協力がありました。

松尾地区老連の踊り「片瀬舟」

「そよかぜの家」のバザー

日赤奉仕団の非常食体験

社会福祉協議会活動の報告

八幡平市ダイヤモンド婚を祝う会

結婚生活60年を迎えられたご夫婦を招待し、今まで苦楽を共に分かち合い乗り越え、ダイヤモンド婚を迎えられた方々を9月24日、八幡平市西根地区市民センターでお祝いしました。

対象者は西根地区20組30人、松尾地区6組9人、安代地区9組18人で計35組57人が出席しました。

記念品の贈呈では夫婦写真が贈られ、アトラクションには東慈寺保育園、八幡平三味線クラブ、つる美会からお祝いに花を添えていただきました。

これからもご夫婦仲良く、健康で長生きすることを願い、末永い幸せをお祈りします。

夫婦お揃いで贈呈にご満悦

ねらいをさだめ真剣な眼差し

八幡平市高齢者ニュースポーツ大会

屋外　9月26日 市総合運動公園多目的運動場
屋内 11月27日 市総合運動公園体育館

今回で3回目の開催となるニュースポーツ大会を市の委託を受け、社会福祉協議会が主催しました。軽スポーツを通し、高齢者の健康保持と親睦を図り、生きがいある生活が送れるよう開催している大会です。

屋外大会結果

グランドゴルフ	優勝 寿B	準優勝 大東A	第三位 五百森A
ペタンク	優勝 山子沢B	準優勝 寿A	第三位 山子沢A

屋内大会結果

ユニカール	優勝 駅前	準優勝 仲町	第三位 北村A
ニチレクボール	優勝 山子沢	準優勝 松川B	第三位 寿A
シャフルボード	優勝 駅前一区A	準優勝 仲町	第三位 土沢A

最後の１打は慎重に

高齢者夫婦世帯のつどい『なかよし広場』

市内に住む高齢者夫婦世帯で、ご夫婦ともに75歳以上の方が一堂に会し、交流と親睦を深めようと「なかよし広場」を10月1日・2日・7日の3日間で開催しました。この会は、ふれあいセンター安代、総合福祉センターを会場に全体で89人の参加があり「毎日安心して過ごすために」を題材に市保健師さんと岩手警察署の方から身近な生活の話をお聞きしました。また、玉入れや、新聞紙を使っての簡単なゲームでは応援の声や歓声が響き、楽しい時間を過ごしました。

ご夫婦仲良く馬っこ走れ

おいしさとバランスを考え楽しく料理

ひとり暮らし高齢者料理教室

市の栄養士さんの指導により、10月30日・31日・11月5日・6日・11日の5日間ふれあいセンター安代や田頭公民館など4カ所を会場に、98人の参加でひとり暮らし高齢者料理教室を開催しました。

「嫌いな食材は無理をせず、他の食材で補えばよい」「野菜は畑じゃなく家の中に持ってきておくと使いやすい」との栄養士さんのことばに大きくうなずき、皆で作ったバランスのよい食事をおいしくいただきました。

福祉団体の活動を紹介

老人クラブ連合会

八幡平市老人クラブ連合会は、女性の視点に立った老人クラブの育成や、これからのあり方について女性会員が一堂に会し、十月十七日八幡平市西根地区市民センターを会場に「女性の集い」を開催しました。

講演の部では、元体操選手の新田道子先生から講演していただき、いつまでも健康で元気に生活するためのお話や運動を指導いただきました。

長生きの秘訣の一つとして多くの方々と出会い会話をし、友達をたくさんつくる大切さを学びました。

余興の部では、各地区ごとに踊りや歌、劇などたくさんの出演があり盛り上がりました。

西根地区老連代表の劇「大きなかぶ」

毎年恒例の市老人クラブ芸能発表会が、十一月十九日八幡平市西根地区市民センターで行われました。

歌や踊りなど、各地区老連六地区から三十七演目の出演があり、大変盛り上がった芸能発表会となりました。

参加した方々は、素敵な歌や踊り、衣装や演出に時間がたつのも忘れ、楽しいひと時を過ごしました。

安代地区老連名寿会の踊り「ひとり薩摩路」

母子寡婦福祉協会

十一月二十一日、市内研修会を開催し、参加者四十八人で特別養護老人ホームりんどう苑、老人保健施設あしろ苑、ふれあいセンター安代の三カ所を見学しました。

各施設とも、入所されている方が笑顔で生活を送られている様子が伺え、『誰もが安心して暮らせる八幡平市』を感じた一日となりました。

特別養護老人ホームりんどう苑を見学

手をつなぐ育成会

十月二十五日に岩手町を会場に、ふれあい親子交流会が開催され、八幡平市では親子合わせて六十人が参加しました。

いろいろなゲームにみんなで参加し、一位、二位、三位には「よくできましたシール」をはってもらい、嬉しそうに飛び跳ねている参加者もいて、ほほえましいものでした。

中にはシールを三個もつけている参加者もいました。

普段なかなか会えない管内の親子の交流を楽しみました。

最後に全員参加のじゃんけんゲームがあり、そよかぜの家の工藤泉さんのお母さんの踏ん張りなど大活躍で、すばらしい景品を獲得しました。

親子で交流を楽しんだ一日

ポパイの家
利用者の頑張りが豊作に

「ポパイの家」は、障がいのある方に対して、就労とさまざまな活動の機会を提供する事業所として市社会福祉協議会が運営しています。

作業のひとつとして取り組んでいる農作業も終盤を迎えた十月二十三日、今にも泣き出しそうな空の下で、利用者と保護者と役職員が力を合わせてＥＭボカシ（肥料）で栽培した里芋を掘り、今年の豊作と畑の神様へのお礼をこめた収穫祭を行いました。

息を合わせてヨイショ!!

スコップで掘り起こす人、親芋から子芋をはずす人、芋を集める人、お昼を作る人など、役割分担をして粘りのあるおいしい里芋を収穫しました。

昼食には、「芋の子汁」と力自慢がきねでついた「お餅」を食べ、来年も農作業をがんばりましょうね、と話が弾んだ一日でした。

こんな立派な里芋ができました

アルミ缶を集めています

取りにお伺いしますので、お電話ください。

電話　〇一九五・七五・一二九五

シルバー人材センター
シルバー人材センターが社団法人化！

任意団体として活動していました八幡平市シルバー人材センターは、この十一月に岩手県から公益法人として許可を受け、「社団法人八幡平市シルバー人材センター」として発足し活動することになりました。現在、約百六十人の会員が登録し仕事の依頼件数も年々伸びております。活動内容は今までと同じです。気軽に依頼されておりますのでご利用ください。センターでは、仕事のご依頼にも十分対応できる体制を整えています。四季を通して皆様からのお仕事の依頼をお待ちしております。

オフィス・ハウスクリーニング講習会開催される！

十一月二十五日から十二月一日までの四日間、総合福祉センターを会場にオフィス・ハウスクリーニング講習会が開催されました。

この事業は、六十歳代前半層の高齢求職者を対象に、これからの労働力需要に応えるため、国の委託事業を受け実施したものです。

当日は、市外からも四名参加され、全体で十九人が汗を流しながら受講しました。講師は、滝沢村でビルクリーニング会社を経営している吉崎弘美先生が務め、参加者は、講師が行なうクリーニング技術を真剣なまなざしで見入ったり、実技に汗を流しました。

クリーニングはバッチリ

会員になりたい方・仕事の依頼相談はこちらに！

八幡平市野駄一九―五〇　社団法人八幡平市シルバー人材センター
ＴＥＬ　六四―一五一一　ＦＡＸ　七四―四四〇二

編集・発行
社会福祉法人 八幡平市社会福祉協議会

〒028-7301 岩手県八幡平市野駄19-50
八幡平市総合福祉センター
電話・〇一九五（七四）四四〇〇 FAX・〇一九五（七四）四四〇一
メール・info@hachimantai-shakyo.or.jp

お・知・ら・せ

社会福祉協議会にご寄付ありがとうございました

H20. 9. 30	藤原良臣様 「西根地区」	10,000円
10. 9	駒ヶ嶺重利様 「西根地区」	30,000円
10. 27	笹の会 代表 遠藤啓介様	51,400円
12. 2	八幡平市商工会女性部 代表 遠藤一子様	20,000円
12. 5	西根地区平舘パッチワーク同好会 代表 小田島アサ子様	10,000円
12. 8	ふれあい舞踊友の会 様	50,000円
12. 8	八幡平市建設協同組合 理事長 遠藤忠志様	100,000円

みんなでささえあう、あったかい地域づくり

歳末たすけあい運動が今年も12月1日から12月26日まで実施されます。

この運動は、八幡平市内に住む在宅寝たきり高齢者等を励まそうと、行うものです。皆様からお寄せいただいた義援金は、年内に対象となる世帯に贈られます。

昨年（平成19年）の歳末たすけあい運動に寄せられた義援金は、戸別世帯募金3,320,550円、法人募金1,044,442円、演芸会益金等372,214円、合わせて4,737,206円でした。お預かりいたしました義援金は、在宅寝たきり高齢者世帯、在宅重度障害児者世帯、ひとり暮らし高齢者世帯、災害（水害）罹災世帯、福祉施設に贈られました。

今年も皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

10月1日から実施されております平成20年度共同募金運動の一環として、去る11月9日に開催されました八幡平市福祉まつり会場内にてチャリティー募金を実施いたしました。

チャリティー募金に寄せられた募金金額は15,558円となりました。お預かりいたしました募金は八幡平市の地域福祉事業のために役立たせていただきます。

募金をお寄せいただきました皆様には感謝するとともに、今後とも、共同募金運動の推進へ変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

生活福祉資金貸付制度について

社会福祉協議会では経済的な自立と生活意欲の助長を図るため、岩手県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業の窓口事務を行っています。

本資金の特徴は、信用貸付であり、担保物件の必要がなく貸付利率は年三％（修学資金と療養・介護資金は無利子）です。

貸付対象世帯は、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯で、資金貸付には連帯保証人が一人必要です。

資金の利用を希望される方は各地区の担当民生委員にご相談ください。

また、八幡平市社会福祉協議会では、たすけあい資金の貸付をしております。

この資金は応急的な資金の貸付で、限度額が五万円です。

詳しくは、社会福祉協議会にお問い合わせください。

本所（七四-四四〇〇）
西根支所（七五-一八二一）
安代支所（七二-二八一一）

主な資金の種類

資金名		貸付限度額	償還期間
更生資金	生業費	2,800,000円以内	7年以内
	技能習得費	1,100,000円以内	8年以内
福祉資金	福祉費	500,000円以内	3年以内
	福祉用具購入費	1,200,000円以内	6年以内
	障害者自動車購入費	2,000,000円以内	6年以内
修学資金	修学費	高校月35,000円以内 短大月60,000円以内 高専月60,000円以内 大学月65,000円以内	20年以内
	支度費	500,000円以内	20年以内
療養・介護資金		1,700,000円以内	5年以内

『八幡平市社協のホームページ』

アドレスはこちら http://www.hachimantai-shakyo.or.jp

どうぞご覧ください。皆さまからのご意見ご感想をお待ちしております。